参考資料

本市の補助区分 補助金等の目的の類型化 見直しの方向・視点 10 廃止 外郭団体(13 団体)運営補助金 団体運営補助等 · 支出方法变更 年 行政主導で設立された団体への補助 ・ 効果等による見直し 市の基礎的団体への補助金等 人件費や事務費など 当該 • 終期設定 以 行政が深く関与する団体への補助 団体の構成員に帰属する経 費に充当される補助金 上 その他の団体運営補助金等 事業補助化 継 団体育成補助金等 ・ 補助対象事業の絞り込み 自主・自立するまでの期間育成する補助 ・ 充当事業に見合う補助額 続 補 事業費補助等 への見直し 助 す 金 行政連携的な補助金等 公益的な下記の事業への 筀 補助 市と連携して事業を実施 3 市に代わって事業を実施 縮小 政策的目的の達成のた ・ 充当事業に見合う補助額 補 め 民間資源を活用し実施 生活支援的,補償的,負担調整的な補助金 への見直し する事業 所得制限の付加等 肋 ・ 市が直接的に実施するよ 一定水準の生活の保障 特定の負担を強いられる者への補助 り補助により実施するほ 金 うが効率的・効果的である 誘導・促進的な補助金等 事業 継続 0 政策目的達成のための手段 ・ 適正化の徹底 市民の意識高揚 ・ 補助対象経費(運営費に 見 大会運営補助 該当する部分)の明確化 義務的な補助金等 直 協定等により定めのある補助金等 利子補給補助 法令等に義務のある補助金等

++++	
/1ñ T\.	- 1

事務事業評価表 (補助金等)

(継続)

事業名		開始年度	担当課			
総合計画の	(基本施策名)			体系コード		事業区分
施策体系	(施策名)			予算短縮コート		

【事業の概要】

目的	
対 象	
手 段	

【事業の成果目標】

目 標 (目指すべき状態)

【目標を達成するための活動指標と投入する事業費】

日標を達成するにめの活動指標と投入する事業質】								
活動指標名(単位)			平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成 1 6 年度 < 見込み >		
		目標						
		結 果						
		目標						
		結 果						
予算事業名 (細事業単位)			平成13年度 (単位:千円)	平成14年度 (単位:千円)	平成 1 5 年度 (単位:千円)	平成 1 6 年度 < 予算額 >		
コンポスト等設置補助金		決 算			0	0		
<注意事項>		国庫支出金						
	財源内訳	県支出金						
		起債						
		その他						
		一般財源						
		人件費						
		(従事職員数)						
	経費(嘱託員等数)							
単位当たりの活動コスト	単 位							
算出方法 (単年度分)	算	出式の説明		•				

【仕事の成果指標】

【仕事の成本]目標】									
成果指標名(単位)		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度 <見込み>				
	目標								
	結 果								
	目標								
	結 果								
単位当たりの成果コスト	単 位								
算出方法 (単年度分)	算出式の説明								

【事業の評価】

評価基準	高い			事業の継続性	低い	<説明・根拠>
[達成度] 平成15年度の成果目標はどの程度達成して いるか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)	
[必要性]市の施策や行政目的を達成するために補助 等の必要性があるか		ある	-	あまりない	ない	
[緊急性] 社会情勢の変化はないか, 今やらなくては ならないか		早急に取り組むべき	,	中長期的に取り組む	緊急性は薄い	
[有効性] 最終目標に対する達成度はどうか,更に効 果が期待できるか		できる	i	あまりできない	できない	
[効率性] 他に目的を達成する手段があるか		ない	i	可能性はある	ある	
[役割分担] 市が積極的に事業を支援すべきか		市が行うべき		也の主体との協働も可 能	市が行う必要性は薄れて いる	
[妥当性] 補助目的に沿った適正な使途がされている か		されている		一部されていない	されていない	
[公平性]補助を受けずに同様の事業を実施してる者 (団体)はあるか		ない		実施する団体が見込め る	ある	
総合評価						

【今後の方向】

改善案 今後は,こうしたいと 考えました	方向性	継続 見直し 廃止 終了	縮小 統廃合 拡大	
-------------------------------	-----	-----------------------	-----------------	--

平成 1 7 年度 <見込み>	平成 1 8 年度 <見込み>	平成 1 9 年度 <見込み >
平成 1 7 年度 (単位:千円)	平成 1 8 年度 (単位:千円)	平成 1 9 年度 (単位:千円)
0	0	0

平成 1 7 年度 <見込み>	平成 1 8 年度 〈見込み >	平成 1 9 年度 〈見込み >

事務事業評価シート

記入例

記 載 個 所	己						
【事業の評価】 《CH	C K »						
事務事業の目標達成度	有効性などの定量的な評価とともに、効率性などの定性的な評価も加味し、						
事務事業を総合的に評価	します。						
[達成度]	補助等が十分に成果をあげているかどうかの観点から評価します						
	目標と実績値を比較し,その達成状況について記入						
	(評価対象年度の成果の達成度)						
	【分析情報】 目標達成・経年比較・成果指標の経年変化(活動量や成果 / 行政コスト)						
[必要性]	市の施策や行政目的を達成するために,補助等の必要性があるかを評価し						
	ます						
	公益上,必要があるかを評価します						
	【分析情報】 補助申請などの経年変化,社会環境状況,法的根拠,現場アンケート・世論調査・社会的データ・満足度						
[緊急性]	社会情勢の変化などから,補助等を継続すべきかどうかを評価します						
	長期化により,補助等が固定化していないかを評価します						
	補助期間を検討(終期の設定)						
	【分析情報】補助金等の創設年度						
[有効性]	成果で設定した目標値と実績値を比較して,どれだけ達成できているかを						
	評価します						
	今後,更に効果が見込めるかどうかを評価します						
	【分析情報】最終目標に対する達成度,目標達成度の経年比較						
[効率性]	補助等により効率的に目的が達成できるか ,また ,当該補助金等の以外の手						
	段で、同様またはそれ以上の効果が得られるかどうかの観点から評価します						
	他の支援の方法に変えることができないかを検討 (活動の場の提供など) 【分析情報】他市・全国・中核市等との比較,他の手段とのコストの比較など						

[役割分担]	行政の責任分野であるか,市民(団体)との役割分担が適当かどうかを評
	価します。
	市と民間(企業,NPO,住民など)との役割について整理
[妥当性]	補助等の目的に沿った適正な使途がされているかを評価します
	・補助等の対象が適正かどうか(要綱に沿った使途となっているか)
	・補助率が本市の補助基準に合致しているか
	・団体等の経理は適正か(目的のない多額の繰越額がないか,会費収入など
	自己財源の確保を図っているか,自立の努力をしているか)
	【分析情報】補助要綱,本市の補助基準,団体等の予算書・決算書
[公平性]	補助等が公平であるかを評価します
	補助等を受けずに,同様の事業を実施している団体などがないか

記	載	個	所	記		λ		方		法			
【今後	後の方向	句】:	《 A C	TION	1》								
方	向		性	方	向性の考え								
紙出	継続現状維持:事務事業の水準を維持し,継続するもの												
見正	直し			統廃行	合:再構築	又は他の事	業との統廃部	き等が適当て	であるもの				
				拡大	: 事業効果	を上げるた	上げるため,コストを集中的に投入するもの						
				縮小	:実施主体	や実施手法	を変えるもの	D					
廃」	E			事業の	効果が望め	ないもの							
終	終了 所期の目的を達成したもの												
【改革案】 評価結果及び社会環境の変化の状況を踏まえて、改革の理由や今後の								今後の					
				方向怕	生を記入し	てください							